



# 愛楽園から

# 看取りを考える



産業医 <sup>だん たけし</sup> 田名 毅  
(首里城下町クリニック)

産業医だよりでは、毎月当院で行われている地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。

2月の地域むけ医療講演会は「愛楽園から看取りを考える」というタイトルで愛楽園 園長の野村 謙 先生にご講演いただきました。愛楽園の概要の説明にはじまり、現在愛楽園で取り組まれている入所者の看取りの実践についてお話いただきました。心に残る感動的なご講演でした。ここではご講演の要約を紹介します。

## 1. ハンセン病とは

- ・ハンセン病は感染力も弱く現在では治療法も確立されている
- ・適切な治療がなされないと外見的機能的に重篤な後遺症を引き起こす
- ・古来よりいわれなき偏見差別を受けてきた

## 2. 入所者の苦しみ悲しみ

- ・親や兄弟姉妹と一緒に暮らすことができない
- ・実名を名乗ることができない
- ・結婚しても子供を産むことが許されない
- ・一生療養所から出て暮らすことができない
- ・死んでも故郷の墓に埋葬してもらえない



【国立療養所沖縄愛楽園】

## 3. 看取りに関する学習会を始めたそのわけ

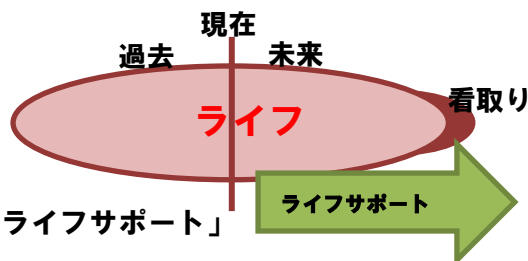


平成21年頃から「看取り」に関する学習会を、まずは職員で開始し、3年後には入所者も交えて行うようになったそうです。最初の頃は入所者の方々にその意図が伝わらず「なぜ、死の話をするんだ。園長は私たちを見捨てたのか!」と言われたこともあったそうです。活動を継続していく中で「看取りは大切 特別なことではない」「ごく普通に毎日の営みがあり そしてごく自然の流れでこの世を去っていく」と伝えていきます。死ぬことに焦点を置くのではなく日々の充実こそが最も重要と強調されていました。

## 4. ライフサポート

今から未来を変えていくことが出来る。

楽しく天に召されてもらう それが愛楽園の取り組み



「ライフサポート」

愛楽園には“人生応援隊”のライフサポートチームがあり、入所者の皆さんの人生という物語をよりよく理解し心豊かに生きるための援助を目指し応援していく取り組みがあるそうです。入所者の皆さん一人ひとりには耐え難く苦しいこともたくさんあったと思いますが“わたしの人生 生きぬいてよかった！！”とだけ言っているライフサポートをされているそうです。死を迎える瞬間が皆にあることを入所者の方々にわかってもらったエピソードを話してくださいました。

…「重大なニュースがあります！うちなーんちゅの死亡率は100%だそうです！！」と。よく考えてください。赤ちゃんであろうと総理大臣であろうと、人は必ず死を迎えます。人生に限りがあることを知り、今このかけがえのない生を豊かによりよく生きることを考えることがとても大切です。死を考えることは生を考える事なのです。と伝えると、入所者は納得されました…。



## 5. 死の4つの側面

- ①心理的な死：生きる意欲や喜びの喪失
- ②社会的な死：社会交流の喪失
- ③文化的な死：文化的な活動の喪失
- ④肉体的な死：肉体的な致命の問題

②は「わんねーわしらっとおんやー」(自分は人から忘れられているのかな)という気持ちを汲む重要性がある。

④の肉体的な死はどうにもならないが①～③を社会的にどう支援するかが重要です。

※人間の死は、自分なりに生を全うし、人格的に成長し達成するもの

※ビクトール・フランクル「夜と霧」

「人生を意味あるものに変えるのに遅すぎることは決してない」「どんな人生にも意味がある」

## 6. 「チーム愛楽園」の取り組み

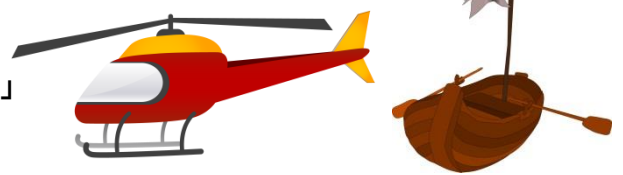
全職員が入所者にどうつながっていくか？ この人に何かできるだろうか？ 本人・入所者を交えて行う多職種カンファレンスやライフサポートシンポジウムの開催を実施しています。

入所者に他の人たちとつながっていること、自分のことを知っている人がいることを感じてもらい、毎日を充実してもらう事を心がけています。入所者が亡くなったとき、送り出した後の分かち合いの会には、職員のみならず他の入所者、入院患者も一緒に参加して話をするそうです。※理想的なブリーフケアだと思いました。

【取り組み実践例】

①ヘリコプターの上から愛楽園をみてみたい！

⇒ やりましょう！！⇒「生きていてよかった！」



②元大工の棟梁だった人に、本人が作った建物の写真(すでに取り壊されている)を探して見せた

自分の誇りたい過去を思い出してもらう。

③元船乗りの方が末期がんになったとき またサバニに乗りたい！⇒ やりましょう！！⇒ 夢を実現させた

④海に入りたいという目の不自由な方と屋我地の砂浜に行き、海水で半身浴してもらった

⑤墓参りをしたいという希望を、家族の協力のもと実現させた

⑥プロ野球を一度でいいから見てみたい⇒ 春のキャンプの練習試合を観戦した 等々



最後はカジマヤーの話を紹介していました。入所者、職員、呼び寄せた家族皆で祝ってあげる。最高の笑顔の写真が紹介されていました。皆が身近に先輩たちを看とることで「ああ なりたいな～」と希望をもってもらうという取り組みが自然で素敵でした。

※是非、当院の職員と一緒に見学に行きたいと感じる内容でした。皆さんも機会をみつけて、愛楽園のイベント(夏祭りなど)にご参加ご検討ください。



## 165回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日時: **平成29年4月12日(水) 19:00~20:30**

テーマ: **膵臓がんを早期に発見するためには**

県立南部医療センター・こども医療センター

消化器内科医長 **新里 雅人 先生**

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
**田名 毅**

あなたの **相談窓口** です!



保健師・産業カウンセラー  
認定産業看護師 **田名彩子**

### 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。

事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。

事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。

暫く  
産休・育児休暇に  
入ります!



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー  
**與儀雅代**



看護師・衛生管理者  
糖尿病療養指導士 **新垣朋子**



認定産業看護師  
**山城愛子**



### 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000

携帯 080-4312-9200 (由名彩子)

メール [saiko@discuit.ocn.ne.jp](mailto:saiko@discuit.ocn.ne.jp)

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい!